

聾学校地域支援だより

聾学校の聴覚障害支援センターでは、小中学校、高等学校等サポート事業で地域の学校に在籍している聴覚障害や言語障害をもった子どもたちのサポートなどを行っています。主な内容としては、難聴理解授業や職員研修、授業等の相談などです。今回は、今年度実施してきた内容についてご紹介いたします。

主な訪問件数・内容

難聴理解授業

対象児あり…2件 対象児なし…1件

各学校に在籍をしている子どもたちを対象に行いました。補聴器の値段を身近な物を使って表現したり、難聴シミュレーション音源を聞いてもらったりしながら、難聴についての理解を深めるための学習を行いました。他にも、震える目覚まし時計や補聴器を触ったり、動画を見たりして、体験的な学習になるように工夫しています。

実際に補聴器をつけてもらい、近くのお友達との会話や、補聴器が苦手な音、うるさく聞こえてしまう音などを体験してもらいました。初めての補聴器に緊張している様子でしたが、実際に体験してみると「うるさい!」「いろんな音が聞こえる」など興味を持って体験している様子が見られました。

どの子どもたちも真剣に学習に取り組み、「補聴器の値段が高くて驚いた」「前の方向から話しかけようと思った」「授業中は静かにしようと思った」「難聴の方と出会ったら、ゆっくりはっきり話すようにしたい」など様々な感想をいただきました。



訪問相談

訪問件数…55件

普段の学校の様子を参観させていただき、一人一人にあった支援などを御相談させていただきました。また、訪問後も必要に応じてメールでのやりとりや、電話での相談をその都度行い、長期的なサポートを実施しています。

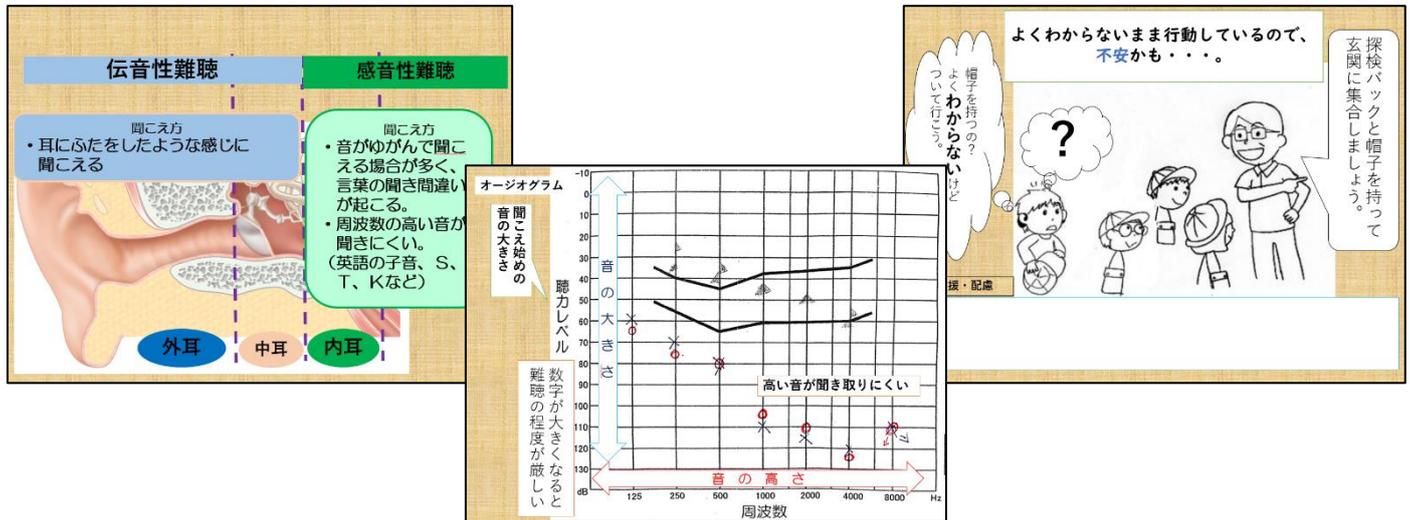
お子さんのきこえの様子によって、関わり方は様々です。御気軽に御相談ください。

職員研修

実施件数…12件

長期休みや放課後などに時間をいただき、学校に所属する先生や通級の先生方を対象に、聴覚障害や言語障害に関する研修を行いました。お忙しい中、多くの先生方に参加していただきありがとうございました。

聴覚障害や構音障害、吃音などについて体験を踏まえながらお話をさせていただきました。聴覚障害については、実際に補聴器を体験してもらい、話し声や生活の中で生じる音など、様々な声や音を聞いてもらいました。また、補聴援助システムを使ったきこえについても体験してもらい、きこえ方の違いも感じていただきました。



今年度も、サポート事業や研修会等で大変お世話になりました。サポート事業は、在籍校からの依頼が必要になります。不明な点等がありましたら、聴覚障害支援センターまでお問い合わせください。

群馬県立聾学校

乳幼児教育相談のご案内

乳幼児教育相談では…

0歳から6歳までのお子さんのきこえに関する相談や支援を行っています。

☆きこえに不安のある小さいお子さんとの関わり方を御家族と一緒に考えます。

☆子育てに関するいろいろな悩みも御相談ください。



就学前のお子さんのサポートとして、聾学校での教育相談の他、在籍している園への訪問相談も実施しています。御気軽にお問い合わせください。